

第81期末(2023年6月14日)	
基準価額	10,041円
純資産総額	1,071百万円
第76期～第81期	
騰落率	△ 1.2%
分配金(税込み)合計	180円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。当社ホームページにアクセスし、「ファンド情報」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を希望される方は、販売会社までお問い合わせください。

# オーストラリアREITファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／不動産投信

## 交付運用報告書

第76期(決算日2023年1月16日) 第77期(決算日2023年2月14日)  
第78期(決算日2023年3月14日) 第79期(決算日2023年4月14日)  
第80期(決算日2023年5月15日) 第81期(決算日2023年6月14日)

作成対象期間(2022年12月15日～2023年6月14日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、「オーストラリアREITファンド(毎月決算型)」は、2023年6月14日に第81期の決算を行いました。

当ファンドは、主要投資対象ファンドを通じて、主としてオーストラリア証券取引所に上場している不動産投資信託証券に投資し、安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っています。

ここに作成対象期間中の運用状況についてご報告申しあげます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

## スカイオーシャン・アセットマネジメント

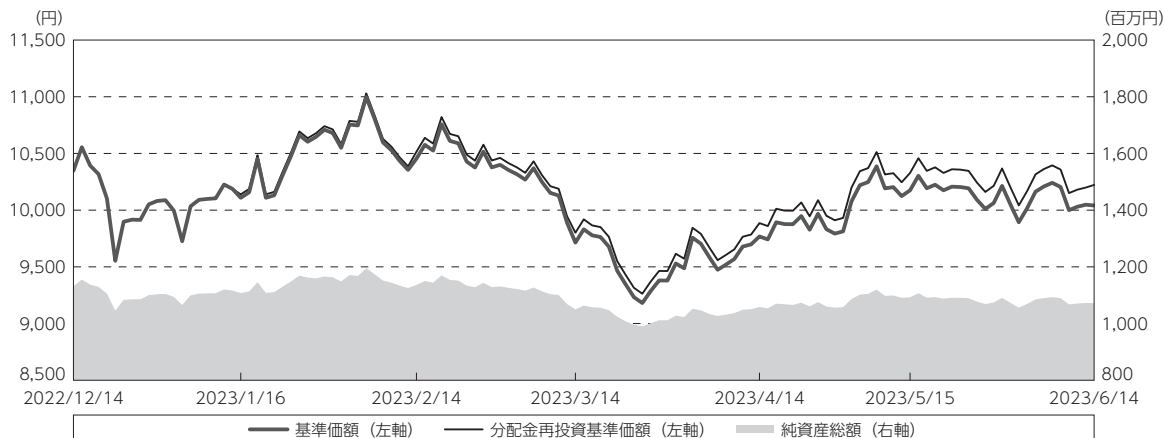
〒220-8611 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1

<照会先> ホームページ：<https://www.soam.co.jp/>  
サポートデスク：045-225-1651  
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2022年12月15日～2023年6月14日)



第76期首：10,347円

第81期末：10,041円 (既払分配金(税込み)：180円)

騰落率：△ 1.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2022年12月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「フランクリン・テンプレートン・オーストラリアREITファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が下落したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も下落しました。

組入ファンド	投資資産	当作成対象 期間末組入比率	騰落率
フランクリン・テンプレートン・オーストラリアREITファンド(適格機関投資家専用)	オーストラリアのREIT	98.5%	-0.6%
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	わが国の公社債	0.0%	-0.1%

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。騰落率は前作成対象期間末(2022年12月14日)からのものです。

(注) 騰落率は分配金再投資ベースです。

## 1万口当たりの費用明細

(2022年12月15日～2023年6月14日)

項 目	第76期～第81期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	57	0.565	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(17)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(39)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0.568	
作成期間の平均基準価額は、10,074円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

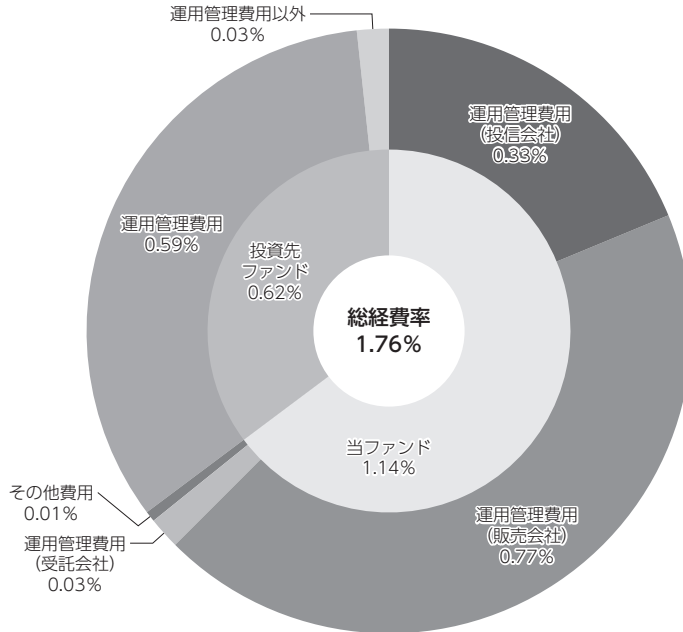
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.76
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

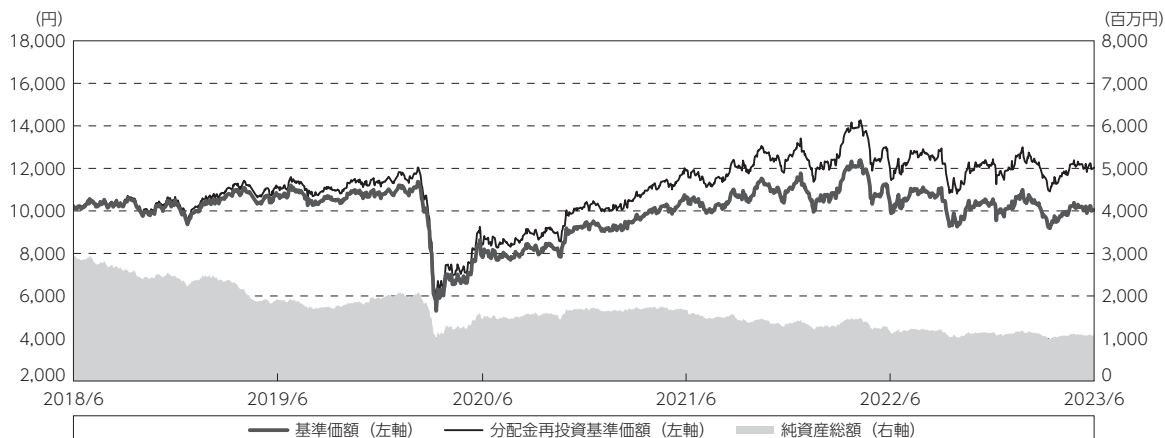
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年6月14日～2023年6月14日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2018年6月14日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年6月14日 決算日	2019年6月14日 決算日	2020年6月15日 決算日	2021年6月14日 決算日	2022年6月14日 決算日	2023年6月14日 決算日
基準価額 (円)	10,227	10,728	7,817	10,614	10,316	10,041
期間分配金合計(税込み) (円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	8.6	△ 24.3	41.3	0.5	0.8
純資産総額 (百万円)	2,976	1,909	1,459	1,663	1,167	1,071

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

**投資環境**

(2022年12月15日～2023年6月14日)

オーストラリアのリート市場は、下落しました。当作成期の前半は、オーストラリア準備銀行の根強い利上げ観測を背景にオーストラリアの債券利回りが上昇したことなどからリート市場は軟調なスタートとなったものの、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げペースを緩めるとの期待から世界的に株式相場が堅調となる中、オーストラリアのリート市場は上昇しました。当作成期の半ばは、オーストラリア準備銀行が利上げを継続する中、リート市場は下落に転じました。欧米の金融システムに対する不安が台頭する中、海外の株式相場が下落したこともオーストラリアのリート市場の下落を促しました。当作成期の後半は、欧米の金融システムに対する過度な懸念が後退し、投資家心理が改善したことなどから、リート市場は反発しました。オーストラリア準備銀行がこれまで続けてきた利上げを見送ったことも、リート市場の上昇要因となりました。その後は、オーストラリア準備銀行が予想外の利上げを決定し、利上げを再開したことを嫌気してリート市場は下落しました。

オーストラリアドル・円相場は、オーストラリアドル高・円安となりました。当作成期の前半は、日銀が大規模な金融緩和策を修正するとの思惑が浮上し、円が他の主要通貨に対して急騰する中、オーストラリアドル売り・円買いが先行しました。しかしその後は、日銀が金融緩和策の修正を見送ったことから、オーストラリアドルは円に対して底堅く推移しました。当作成期の半ばは、欧米の金融システムに対する不安が台頭する中、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、オーストラリアドル売り・円買いが強まりました。当作成期の後半は、海外における銀行システムの混乱に対する過度な懸念が後退したことから、オーストラリアドルは反発しました。さらに、日銀が金融緩和姿勢を維持する中、円が主要通貨に対して下落基調で推移したことから、オーストラリアドル高・円安が進みました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2022年12月15日～2023年6月14日)

## ○当ファンド

「フランクリン・テンプレトン・オーストラリアREITファンド（適格機関投資家専用）」への投資を高位に保つ運用を行いました。

## ・フランクリン・テンプレトン・オーストラリアREITファンド（適格機関投資家専用）

「フランクリン・テンプレトン・オーストラリアREITマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、主にオーストラリアの証券取引所に上場している不動産投資信託証券に投資しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

## 分配金

分配金額は、各期ごとの経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2022年12月15日～ 2023年1月16日	2023年1月17日～ 2023年2月14日	2023年2月15日～ 2023年3月14日	2023年3月15日～ 2023年4月14日	2023年4月15日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年6月14日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.296%	0.286%	0.308%	0.306%	0.294%	0.298%
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,481	3,499	3,510	3,525	3,543	3,554

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### ○当ファンド

フランクリン・templton・オーストラリアREITファンド（適格機関投資家専用）への投資を通じて、主としてオーストラリア証券取引所に上場している不動産投資信託証券に投資します。

#### ・フランクリン・templton・オーストラリアREITファンド（適格機関投資家専用）

「フランクリン・templton・オーストラリアREITマザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にオーストラリアの証券取引所に上場している不動産投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。

#### ・FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した運用を目指します。

## お知らせ

該当事項はございません。

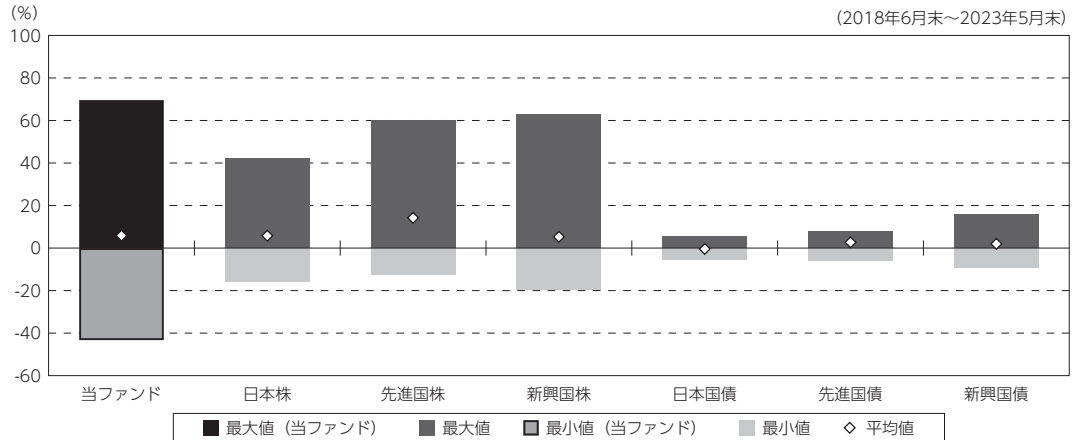
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2016年9月5日から2026年12月14日
運用方針	安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	フランクリン・templton・ジャパン株式会社が運用する「フランクリン・templton・オーストラリアREITファンド（適格機関投資家専用）」（以下「主要投資対象ファンド」といいます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリア証券取引所に上場している不動産投資信託証券に投資します。
分配方針	毎月決算を行い、収益分配を目指します。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 ※第1期から第2期までの決算時においては収益分配を行いません。第3期以降の毎決算時に、原則として分配を行います。



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	69.6	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 43.3	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	5.9	5.8	14.2	5.3	△ 0.4	2.7	2.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年6月から2023年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2023年6月14日現在)

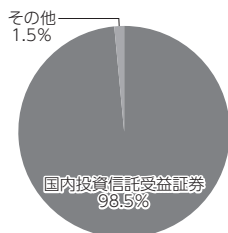
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第81期末
	%
フランクリン・テンプレトン・オーストラリアREITファンド(適格機関投資家専用)	98.5
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

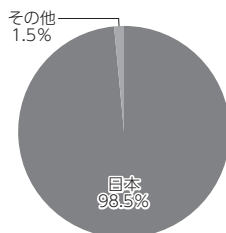
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

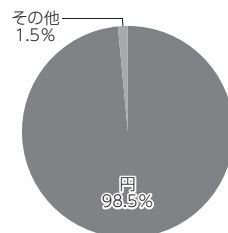
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末
	2023年1月16日	2023年2月14日	2023年3月14日	2023年4月14日	2023年5月15日	2023年6月14日
純資産総額	1,107,566,380円	1,136,135,846円	1,049,932,676円	1,058,413,556円	1,092,707,147円	1,071,829,866円
受益権総口数	1,095,673,863口	1,086,754,766口	1,080,795,735口	1,083,564,423口	1,073,888,099口	1,067,442,461口
1万口当たり基準価額	10,109円	10,454円	9,714円	9,768円	10,175円	10,041円

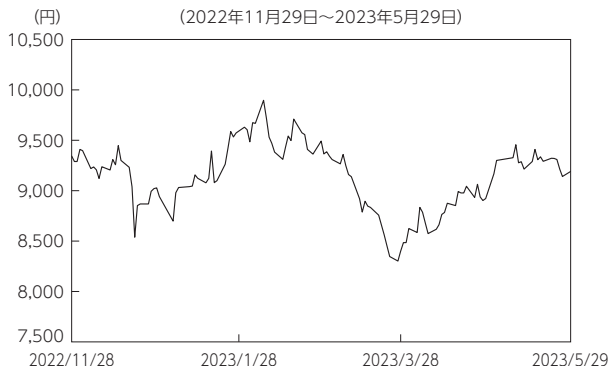
(注) 当作成期間(第76期~第81期)中における追加設定元本額は11,695,430円、同解約元本額は38,131,507円です。

組入上位ファンドの概要

フランクリン・templton・オーストラリアREITファンド (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】

(2022年11月29日～2023年5月29日)



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月29日～2023年5月29日)

項目	第91期～第96期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託会社 )	27 (25) ( 0 ) ( 2 )	0.302 (0.274) (0.005) (0.022)
(b) 売買委託手数料 ( 投資証券 )	1 ( 1 )	0.009 (0.009)
(c) その他費用 ( 保管費用 ) ( 監査費用 ) ( 印刷等費用 ) ( 業務委託等費用 ) ( その他 )	1 ( 0 ) ( 0 ) ( 0 ) ( 1 ) ( 0 )	0.015 (0.004) (0.003) (0.002) (0.006) (0.000)
合計	29	0.326

作成期間の平均基準価額は、9,013円です。

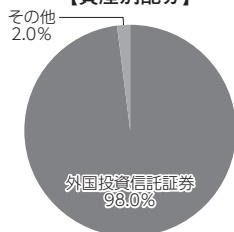
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

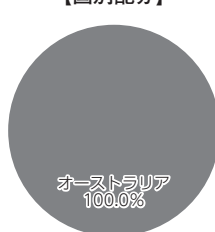
銘柄名	国・地域	組入比率
1 STOCKLAND	オーストラリア	8.4%
2 SCENTRE GROUP	オーストラリア	8.3%
3 REGION RE LTD	オーストラリア	7.1%
4 GPT GROUP	オーストラリア	6.6%
5 GOODMAN GROUP	オーストラリア	5.3%
6 INGENIA COMMUNITIES GROUP	オーストラリア	4.8%
7 NATIONAL STORAGE REIT	オーストラリア	4.8%
8 CHARTER HALL RETAIL REIT	オーストラリア	4.6%
9 HOMECO DAILY NEEDS REIT	オーストラリア	4.5%
10 DEXUS/AU	オーストラリア	4.2%
組入銘柄数	29銘柄	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

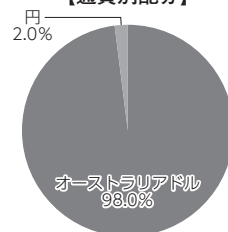
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年5月29日現在のものです。

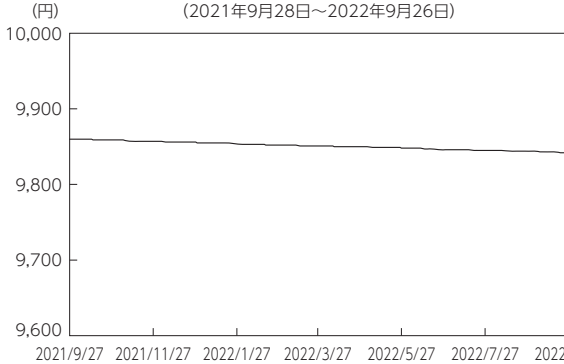
(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

FOFs用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】

(2021年9月28日～2022年9月26日)



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2021年9月28日～2022年9月26日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	14	0.143
( 投 信 会 社 )	(11)	(0.110)
( 販 売 会 社 )	( 1)	(0.011)
( 受 託 会 社 )	( 2)	(0.022)
(b) そ の 他 費 用	1	0.005
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.005)
合 計	15	0.148

期中の平均基準価額は、9,851円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

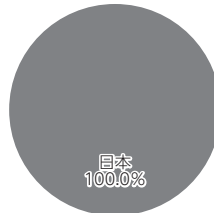
【組入上位10銘柄】

当期末における該当事項はありません。

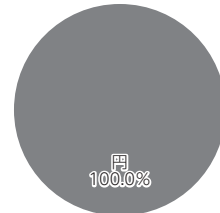
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年9月26日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。